

# 2008 AUTOBACS SUPER GT 第1戦

## SUZUKA GT300km <sup>2008</sup> 3/15 予選 SAT. **16** 決勝 SUN.

鈴鹿サーキット国際レーシングコース 1周 5.807km

- 大会名称 : 2008 AUTOBACS SUPER GT 第1戦 SUZUKA GT300km
- 同日開催 : 2008 フォーミュラ Enjoy 第1戦 / 2008 NISSAN MARCH WEST Japan Series 第1戦
- 主催 : 関西スポーツカークラブ(KSCC) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA) ・ 社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : GTアソシエーション

## GT500

### あのGT-Rがついに復活！ニューNSX、SC430登場!! スーパーGT新時代が鈴鹿サーキットから始まる!



ニッサンGT-R

ホンダNSX、トヨタSC430、ニッサン・フェアレディZが白熱のバトルをくり広げた2007シーズンは、3勝を記録したARTA NSXの伊藤大輔／R・ファーマン組が初のチャンピオン獲得。NSX陣営に2000年以来7年ぶりのタイトルをもたらせてその幕を閉じた。そして迎える2008シーズン、SUPER GTはさらなる進化をとげるようになった。あのニッサンGT-Rがついに復活するのだ。長年国内レースに君臨し、数々の記録を打ち立ててきた伝説の名車GT-R。1994年から始まったGTシリーズでも5回ものタイトルを獲得している。そのGT-Rが姿を消したのが2004年、フェアレディZに交代したのだ。それが今年ついに復活する。すでに昨年鈴鹿サーキット

2007年チャンピオンマシン  
ARTA NSX

のテスト走行も実施しており、歴代のGT-Rに負けない精悍なボディスタイル、速さを披露してくれた。だが、ライバル陣営も負けてはいない。チャンピオンマシンNSX、SC430ともに08年型ニューマシンを早々に完成させ、精力的にテスト走行を続けているのだ。GT-R復活、ニューNSX、ニューSC430が対決する2008年は、まさに1戦たりとも見逃せないシーズンになる。鈴鹿サーキットからスーパーGT新時代がスタートする。



トヨタSC430

## GT300

### MR-S、紫電、ガライヤ、ヴィーマック、RX-7、Z、ポルシェ、インブレッサ、 多彩なマシンがさらに進化。開幕から大激戦の予感



MR-S

多彩なマシンが入り乱れて大接戦を展開しているのがGT300クラスだ。06年はRX-7、紫電、ヴィーマック、Zがタイトル争いを展開し、紫電と同ポイントながら、上位入賞回数でRX-7がタイトルを獲得。07年はMR-S、紫電、ヴィーマック、ガライヤが激闘。わずか1ポイント差でMR-Sがタイトル獲得という大接戦が続いた。その激戦の構図は今年も健在。各マシンともさらに進化をとげて、開幕の地、鈴鹿に乗り込んでくることになったのだ。まさに手に汗握るといった表現がぴったりくる、白熱の戦いが展開されることになる。



紫電



ガライヤ



ヴィーマック



RX-7



Z



ポルシェ



インブレッサ

### ハンディウエイトなしのガチンコ勝負は開幕戦鈴鹿だけ。

### GT-R、NSX、SC430 真の速さが予選スーパーラップで判明する！

優勝すると次戦からGT500クラスで50kg、GT300クラスで30kgのハンディウエイトが課せられるSUPER GT。他にも決勝で4位まで、予選で上位に入ったマシンにもハンディが課せられるため、重いウェイトを背負ったマシンは予選から苦しい戦いを強いられることになる。しかし鈴鹿は開幕戦、そのハンディは存在しない。つまりそのマシンの真のポテンシャル、速さが見られるのだ。公式予選が行われ、GT500、GT300ともその上位10台が進出するSL(スーパーラップ)は、シリーズで最も熱い争いになるのは確実。1台ずつコースイン、2週のウォームアップの後、たった1周のタイムアタックでスタートポジションが決まる。これは同時にマシンの速さをアピールすることにもなるのだ。昨年開幕戦、NSXを駆る伊藤大輔がこのSLで、これまでのコースレコードを2秒821も短縮する、驚異的な1分49秒842をたたき出してPP(ポール・ポジション)獲得。伊藤/R・ファーマン組はこの勢いで3勝を記録して、シリーズチャンピオンに輝いたのだ。はたして今年はどんなタイムが記録されるのか？SLのワンラップアタックに注目だ。

## 1月16日(水) チケット発売開始!

前売り観戦券(税込)		
大人 (パスポート付)	ペア(大人2名) (パスポート付)	中高生 (入園のみ)
5,000円	9,000円	1,600円

前売り指定席券(税込)		
決勝日のみ有効・別途観戦券必要・A・C・Eエリア入場可能		
V指定席	S1指定席	S2指定席
5,000円	2,000円	1,500円

前売りファミ得チケット(税込)		
A・C・Eエリア付き(決勝日のみ有効) パスポート付き(土・日いずれか1日)		
大人2名 + 子供1名(3歳以上高校生以下)	追加券 大人	追加券 子供 (3歳以上高校生以下)
13,000円	6,000円	3,000円

前売りエリア指定席付き観戦券(税込)	
A・C・Eエリアは決勝日のみ有効 パスポート付き(土・日いずれか1日)	
大人観戦+A・C・Eエリア	6,000円

※3歳～高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。  
 中学生/1,600円・小学生/800円・3歳～未就学児/600円  
 ※高校生以下の方は、A・C・Eエリアへ無料でご入場いただけます。  
 ※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日  
 いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパス  
 ポート」となります。  
 ※指定席券は決勝日のみ有効です。  
 ※ペアチケットは前売りのみの発売で、2名セットとなります。  
 ※エリア指定席付観戦券は前売りのみの販売となります。  
 ※V、S1、S2指定席券をお持ちの方は、A・C・Eエリアへの入場がで  
 きます。  
 ※V、S1、S2指定席をご利用の場合、3歳以上共通料金となります。  
 ※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は販売いたしません。  
 お早めにお求めください。

### ■ご案内:

- 大人のお客様は、ゆうえんちモトピアパスポートでは、本レースをご観戦いただけません。  
 ●レース決勝日のゆうえんちモトピアパスポートをお持ちの大人のお客様が、本レースご観戦をご希望の場合は、別途追加料金1,800円  
 にてご観戦いただけます。  
 ●中・高校生のお客様は、ゆうえんち入園料のみで本レースをご観戦いただけます。

★★VIPスイート/VIPテラス/Honda応援席/TOYOTA応援席も販売! 詳しくはホームページをご覧ください。★★

チケットのお求めは	券種によってお取り扱いのない窓口もございます
■鈴鹿サーキットレースチケットセンター	1月16日(水)～3月15日(土)まで(販売時間 10:00～16:00) (1/28(月)～2/7(木)の期間のお取り扱いはありません)
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100(通販専用)	2月13日(水)～3月9日(日)まで(販売時間 10:00～16:00)
■オンラインショッピングサイト	2月13日(水)10:00～3月10日(月)9:00まで(24時間受付)
1月16日(水)～3月15日(土)(一部販売期間が異なる店舗がございます。)	
●電子チケットぴあ ●セブンドリーム・ドットコム ●CN プレイガイド ●ローソンチケット ●イープラス ●JTB ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行 ●トップツアー ●名鉄観光 ●セブン-イレブン ●ローソン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス ●am/pm ●鈴鹿サーキット各営業所<東京・名古屋・大阪・三重> ※コンビニには時間帯に制約があります。※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。	
チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)	

鈴鹿サーキットは園内施設の点検・整備のため、1/28(月)～2/7(木)の間を休業とさせていただきます。